

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600144
法人名	社会福祉法人 南之郷
事業所名	認知症高齢者グループホーム 南之郷
所在地	鹿児島県曾於市末吉町南之郷8130番地1 (電話) 0986-78-1107
自己評価作成日	平成26年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「社会福祉法人南之郷」は、H26.4.7に開所した施設です。
 ・農業法人と一体となり、利用者様が今までの生活の中で行ってきた、農業(ニンニク・ねぎ・しょうが等)の選定) 楽しみに行なわれています。
 ・環境は中学校跡地でもあり、南側には市が管理している、広いグラウンド、その周りにはイチョウ・桜等の大木に囲まれ、伸びやかな景色となっています。また、ホーム周辺は、遊歩道となっており歩きやすく、車椅子でも外での散歩が楽しめます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・生まれ育った故郷のよさを感じながら日常生活を楽しめるように、豊かで安らぎのある生活を享受し、地域との交流に力を入れている。
 ・理念は、みんなで共有して実践に繋げている。中学校の雰囲気をもっと残しながら、地域のコミュニティーの場になるように「南之郷いきいきサロン」を開催したり、地域に開かれた運営をめざしている。野菜など地元の食材活用、地元雇用、地域経済の活性化、中学校同窓会事務局、ボランティア受け入れなど地域密着型福祉施設をめざしている。
 ・運営推進会議は、事業所の報告や利用者の様子、外部評価の報告をし、家族や行政、地域からも意見をもらい情報交換を行なってサービス向上に活かしている。
 ・身体拘束については、研修や勉強会で、身体的・精神的な拘束もなく、玄関の施錠も昼間はせず、自由に利用者が出入りできるようにしている。
 ・災害対策については、年2回、消防署に来てもらい避難訓練をしている。地域の住民も参加して、安心して施設での生活ができるように安全対策に取り組んでいる。
 ・利用者の一人ひとりの尊厳を大切に、プライバシーを守り、自由に生活できるように、身体的なことや感情の変化などに注意しながら、馴れ合いにならないように、言葉かけなどさりげない支援をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	社会福祉法人南之郷全体での理念を掲示し、月1回の全体会議の場で唱和し、共有し実践に繋げている。	自分が生まれ育った故郷で、豊かで安らぎのある生活を享受し、地域との交流に力を入れている。理念に常に立ち返って、みんなで共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方との交流の場として、月1回、いきいきサロンを開催している。また、七夕には、幼稚園児が来所し飾り付けを一緒に行ったりしている。	中学校の雰囲気できるだけ残しながら、地域のコミュニティの場になるように「南之郷いきいきサロン」を毎月開催し多くの参加者があり、地域に開かれた運営をめざしている。野菜など地元の食材活用や地元雇用、地域経済の活性化、中学校同窓会事務局、ボランティア受け入れなど、地域密着型福祉施設をめざしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方との交流の場として、「南之郷いきいきサロン」を月1回開催している。毎月、色々な内容を行い、利用者様・職員との交流を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヵ月に1回、運営推進会議を開催している。入所・職員状況・事故に関する事、行事内容の報告を行い、様々な意見を頂いている。会議で頂いた意見も取り入れサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議では、家族代表、行政担当者、民生委員、公民館館長、地域関係者、職員などが参加して、事業所の報告や利用者の様子、外部評価の報告をして、会議における助言で利用者の生きがいづくりにハウス栽培などを取り入れている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>定期的な会議以外でも市の担当者に運営や現場の状況について、相談や報告を行っている。サービスの課題解決に向けて、意見交換を行い、良い結果になるように取り組んでいる。</p>	<p>市との連携については、行政に会議や行事などに出席してもらい、事業所の進捗状況や課題などについて意見や提案をもらっている。直接担当者に会いに出向いて、書類申請や相談をして連携がとりやすい環境にある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を中心にマニュアルを作成し、職員会議を利用し勉強会を行っている。玄関の施錠に関しては、事故等に配慮しながら、拘束を行わないケアに努めている。</p>	<p>身体拘束ゼロを職員全員が意識し、月間目標を決めたり、研修や勉強会で、身体的・精神的な拘束ゼロについて環境作りと実践をしている。玄関の施錠も昼間はせず、自由に利用者は出入りできるようにしている。外に出かける利用者には、声かけやさりげなく寄り添い支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を中心に勉強会を行っている。常に施設内で、虐待と思われる行為はないか注意を払い、職員全員で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護については、今後勉強会を行い、日常生活支援事業や成年後見制度を活用できるようにしたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書・利用契約書について、ご家族様・利用者様に説明を行い、同意を得て、署名・捺印を頂き、契約が締結している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ホーム入口に『意見箱』を設置し、要望等投函できるように環境を作っている。 面会時に、毎日の生活の様子などを話す中から、要望等を聞いている。また、運営推進会議の場でもたくさんの質問・要望等がある。	利用者や家族との関係を大切に、意見が出やすいような環境と面会の時など、できるだけ細かく報告をして話しやすい雰囲気作りをしている。特に土日は面会が多い。毎月の便りでも行事で利用者がいろんな場面で楽しんでいる風景を写真に撮り生活の姿を通して、家族の意見・要望を聞き運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回、全体会議を開催し、職員の意見等を聞く場を設けている。意見の内容によるが、出来る限り反映できるように努めている。</p>	<p>朝夕の申し送り時や昼休み時間に管理者と相談したり、職員同士で話し合い、意見が言いやすい環境にある。急な勤務変更の相談も職員間で行ない管理者に報告している。意見や提案等はミーティングで話し合い運営に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>出来る限りの希望する休みや有給を取れるように、配慮している。休憩場所等の設備も整えている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修委員会を中心に月に1～2回勉強会を行っている。外部研修の声かけも積極的に行い、参加している。今後も出来る限り研修等に参加していきたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>「曾於市認知症ホームの会」に参加し、他事業所との交流を行っている。今後も会に積極的に参加し、交流・意見交換を行っていききたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様との面談を行い、要望等に傾聴している。入居後は、他利用者様との関係等に配慮しながら、密に声かけを行い、信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談時にご家族様からの、相談・要望等にも耳を傾ける事で信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様の状態を見ながら、ご家族様とも相談し、介護支援専門員・看護師・介護職も含めて話し合いを行い、必要なケア内容を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護するという立場ではなく、「人生の大先輩」であるという事を忘れずに一緒に生活するという関係を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様とのコミュニケーションを大切にし、面会時には居室でゆっくりと話ができる環境を作っている。また、面会時には毎日の様子等伝えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地元の方の利用者様が、多く近所の方の訪問が多くある。馴染みの場所等も、ご家族様の協力を頂き、途切れないように努力している。</p>	<p>希望があれば、日頃行けないところに行ったり、以前、通っていた馴染みの商店に買い物に行ったり、美容室や理容室に行けるように、馴染みの人間関係が途切れないように支援している。知り合いや親戚など面会も多い。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人一人の性格等に配慮し、職員が間に入り、トラブルなく利用者様同士が話ができるように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>現在、契約が終了した方はいないが、今後は退去後も状況に応じて情報交換を行い、相談・支援に努めていきたいと考えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の希望・意向は傾聴し話の中から把握できるように努めている。また、困難な場合は表情や行動・ご家族様からの情報により把握できるように努めている。	開かれた施設をめざし、いつでも相談できる雰囲気を作り、個別に思いや意向の把握をしている。夜間眠れないときなど日頃聞けないことを把握している。本人から聞き入れが困難な場合は家族や親戚・知人などと話し本人中心の支援を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	毎日のコミュニケーションの中から、今までの生活歴・生活環境の情報を得、必要時にはご家族様からの情報収集を行い、これまでの経過等の把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の日課はあるが、体調等の把握を行ない、ご本人様のペースを尊重し、無理強いせず、ゆっくりと過ごしている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のグループホーム会議の中で、一人一人の利用者様の状態についての検討を行っている。課題がある場合は、それぞれの意見を取り入れ、状況にあった介護計画を作成している。	本人や家族の希望を確認し、会議で話し合い、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。記録や報告等を参考に毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の生活の様子や気づき等を、個別介護記録に記入している。会議や、毎日の業務の中で情報を共有し、ケアに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者様やご家族様の意向等が変化した場合等は、職員との話し合いを持ち、様々な面から考え、出来る限りのサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>開所半年の為、まだ定期的なボランティアの訪問等はないが、夏祭り等では、地域の方に踊りや三味線を披露してもらった。今後は、地域の色々な機関を把握し、交流したいと考えている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前に利用していた、病院をそのまま利用してもらっているが、ご家族様・利用者様の状況により入所後に協力医療機関への変更も行っている。病院受診時には看護職が同伴し、医師との連携を取っている。</p>	<p>事業所の協力医療機関の他、利用前のかかりつけ医での受診を受けられるよう支援している。歯科の往診もある。受診時には看護師が同伴し、結果は家族と事業所が共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護師が2名おり、日々の健康管理を行っている。状態変化等、すぐに相談し対応している。また、同法人施設の看護師にもすぐに相談できる環境である。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際には、ご家族様や医療関係者と連絡を密にとり、状態把握に努めている。ご家族様と相談しながら、早期退院に向けて体制を整えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化した場合における指針を説明し同意を得ている。今後の重度化した場合・終末期の支援に向けて環境を整えていく所である。ご本人様・ご家族様の思いを尊重し支援していきたいと思う。</p>	<p>看取りの指針があり、終末期については、入居の最初の段階で説明し同意をもらっている。終末期のときになったら、段階的に細かく説明して家族の協力をもらい取り組んでいけるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護職を中心に、定期的に勉強会を行っている。 初期対応の訓練は、出来ていないが、今後、実践していきたいと思う。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災時の避難訓練を、消防署指導の元、年2回実施予定である。地域の消防団にも協力依頼している。今後、地震・水害等の訓練も計画していく。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施予定である。併設の法人事業所との協力体制もできている。地域住民との協力体制については内容を検討中である。今後、地震や水害等の訓練も計画予定である。備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の大先輩として、声かけの内容や対応に気を付けている。排泄時や更衣時もプライバシーを配慮し支援している。</p>	<p>利用者の尊厳を大切に、日頃から、プライバシーを守り、自由に生活できるように信頼関係を築き、1人ひとりの変化などに注意しながら、馴れ合いにならないように注意したり、言葉かけなどさりげない声かけや誘導をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ゆったりと話ができ、利用者様が思いや希望を言い易い環境に努めている。言葉だけでなく、行動や表情からも引き出しているように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人のペースを大切に生活しているが、生活の中で大まかな時間配分はある。入浴時間は職員の都合上日中に行っているが、無理強いはしないように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>地域の方に訪問して頂き、定期的に散髪を行っている。ご家族様の支援により馴染みの店をそのまま利用されている方もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、昼食は同じテーブルで食べている。食事後のテーブル拭きや、食器の片づけ・洗い等出来る方には手伝ってもらっている。昔ながらのおやつを作る際は利用者様に教えて貰いながら一緒に作っている。	旬の食材で利用者の希望に添った献立を工夫している。可能な範囲で後片づけなど職員と一緒にしている。誕生会や季節の行事食、昔ながらのおやつ作りに利用者のアドバイスを貰うなどし、職員と利用者が一緒に食卓を囲み会話を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	当法人の管理栄養士が献立を作成し、バランスのとれた食事内容である。水分量は、毎日確認を行い、お茶を好まない方にはゼリーや他の飲み物での提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声かけを行い、口腔内の清潔保持に努めている。毎食後出来ない方も、1日1回は出来るように努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、誘導・支援を行っている。また、行動等からも排泄サインを見逃さずに、失禁なく排泄できるように努めている。	排泄チェック表で排泄のパターンを記録して、それぞれ習慣も把握してさりげなくトイレ誘導をしている。さりげない言葉かけや羞恥心への配慮をして、できるだけトイレへの誘導で排泄の自立支援を行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分をとって頂けるように配慮している。毎朝、牛乳又は、ヨーグルトを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や希望もあるが、週3回入浴出来るように支援している。声かけにより、入浴出来ない場合は無理強いはしていない。夜間は行っていない為、日中出来る限り、午前午後で好む時間に入浴出来るようにしている。	入浴は家族を含めて話し合い計画的に週3回を基本にしている。利用者の希望があれば、個別的なタイミングに合わせて、シャワー浴も含め、その都度対応して、いつでも入浴ができるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも自分の部屋でゆっくりと過ごす事が出来る。夜間も眠れない場合は、話をしたりし、気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が、利用者様一人一人の内服の効能を把握し、確実に飲んでもらえるように工夫をしている。また、状態変化時には、早期に主治医に相談し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>昔の生活環境を把握し、毎日の生活の中から、一人一人の出来る事を見つけ、役割や楽しみになるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天候にもよるが、毎日、外気浴・散歩等を行っている。また、ご家族様の支援を頂き定期的に外出される方が多い。今後は地域行事等への参加を行い、外出の機会を増やしていく。</p>	<p>天候や健康チェックをして、近隣の遊歩道を散歩して、地域住民とのふれあいを行なっている。校庭に桜があり花見ができる環境に恵まれている。本人の希望を聞いて、ドライブをしている。車椅子の利用者も車に乗って出かけるなど外出支援の機会を作っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、少額のお金を持っている方はいるが、使用する機会は少ない。お金を持つ事で安心感につながっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>現在、電話・手紙等の支援は行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	殆どの利用者様が、食堂兼居間で過ごす事が多いので、混乱の原因ともなる為、テーブルや場所などの移動は行わないようにしている。常に湿度・温度等には配慮し、換気にも努めている。また、季節に合った歌や飾りを掲示している。	明るい雰囲気と懐かしい校舎の雰囲気を活かしている。湿度・温度は適温に調整され、季節を感じさせる飾り付けなどがあり、暖かい雰囲気になっている。天井も高く広い開放的な空間になっている。風呂やトイレも広く車椅子などの利用者も窮屈な思いもなく安心して生活できている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼居間が、共用空間となっている。気の合った方同士で話が盛り上がる事も多い。一人で過ごしたいときには居室で過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド・タンスは備えつけである。少しずつ、使い慣れたものが増えてきているが、認知症の症状にもより、難しい方もいる。居室にはホーム内で作った塗り絵やカレンダーなどを飾っている。	自宅で使い慣れ親しんだ小物や衣装だな等、身の周りのものが自由に持ち込まれ、個性的な部屋になっている。本人や家族の希望を話し、居心地のいい部屋になっている。家族の写真やレクリエーションで取り組んだ作品なども飾ってある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が、出来る限り、自分で目的の場所まで行き易いように、居室には名前の表示、トイレの入り口にも表札を付けている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない